



【発行者・所在地】
 グリーンポスト事務局
 大阪市中央区南戎衛門
 町5-25-302
 ☎06-6212-3100

★グリーンポスト第十九回理事会開催！

去る六月二日(土)あまの井(大阪市中央区)に於いて、第一九回(社)グリーンポスト理事会を開催いたしました。

社員総会は理事会閉会后に開催されました。第十九回理事会は、理事十六名中十四名出席(委任状含む)、議長に酒井理事長を選出し、各議題については、松村専務理事から提案を行い審議進行しました。

一 事業年度会計報告

健全な収支は保たれてはいますが、拡大傾向になく、新会員や収入増の対策が課題です。

二 活動報告について

- ① 会員数、口数及び新規会員について
 - ② 収入(基金及び寄付)について
 - ③ 出資者について
 - ④ イベントの内容について
 - ⑤ 教育支援活動について
 - ⑥ 「みどりのはっぱ」発行状況
- 三 提案について
- ① 規約の変更について
 - ② 事務局会議の開催について
 - ③ 教育支援活動について
 - ④ 会員拡大への取り組みについて
 - ⑤ リンゴ、干しいもの物資販売について
 - ⑥ 萬栄 特約会員の募集と利用者拡大について

⑦ 今年度の海外研修について

⑧ 「みどりのはっぱ」の定期発行とホームページの活用について
 提案の後に審議を行い承認されました。

◎規約の変更について

〈現行〉理事、監事は理事会で決定する
 〈改正〉理事、監事は立候補を経て理事会で決定する。
 役員会は、理事、監事が理事会及び社員総会に欠席が続く場合は、協議後に理事長が辞任勧告を行うことができる。

◎事務局会議の開催について

年3回の役員会議の他に、毎月一回の事務局会議を開催し、役割分担等の事務活動を円滑に進めていきます。

事務局メンバーについては理事長、専務理事、常務理事で選任します

◎教育支援活動について

公益社団法人シヤンティ国際ボランティア会に協力し、アジアの子どもたちへの奨学金支援を行います。今年度は4名の高校進学奨学金支援を行います。また、タイにおいて教育支援活動を行っているマレットファン(夢のたね)への活動助成を行います

また、マレットファンについては、本年十月下旬からの日本国内での講演活動について、「みどりのはっぱ」などで「講演参加呼びかけ」の周知活動を行います。

今年度の海外研修は八月にタイ北部のバヤオ県センサイ村にある少数民族のSVA(シーカー・アジア財団)奨学生寮での交流や図書館訪問を予定しています。

◎会員拡大の取り組みについて

(社)グリーンポストの諸活動を継続・発展させていくためにも会員の拡大が急務です。
 会員の皆さまにご理解をいただき100名会員を達成に向けて取り組んでいきます。

(社)グリーンポストの活動がわかる「みどりのはっぱ」の購読者をご紹介ください。事務局よりお送りします。

◎リンゴ・干しいもの物資販売について

昨年度のご協力ありがとうございました。
 本年も安全で高品質の商品を安価な料金でお届けします。

リンゴは十一月中旬に、干しいものは一月頃に商品案内をお送りします。

◎萬栄 特約会員の募集と利用者の拡大について

年会費無料！萬栄各館で利用できる『萬栄カード会員』を募集中です。
 利用促進を図るため『萬栄カード』利用見学会を企画中です。

今後(社)グリーンポスト活動の「理解と各行事への参加をよろしく願います。」
 詳細はホームページ掲載しています。(グリーンポスト検索)

◇ボランティア活動参加ありがとうございます。

今後モチャリティコンペや他団体との協賛企画行事など、あらゆる機会を捉えて、ボランティア活動に取り組んでいきたいと考えています。
 皆さまのご参加をお待ちしております。

「絵本を届ける運動」 ー アジアの子どもたちに ー

私たち(社)グリーンポストと協力関係にある公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の「絵本を送る運動」を紹介します。

「絵本を送る運動」とは、子どもの本が足りない地域に、日本の絵本に現地の訳文シールを貼って送る活動です。

絵本は楽しいだけではなく、子どもたちが読み書きを修得することの助けにもなっています。

地雷原の看板が読めずに地雷を踏む事故、処方箋を読めないことによる薬の誤用など、識字は命を守ることに繋がります。

絵本を届ける先はカンボジア、ラオス、ミャンマー(ビルマ)、ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタン、タイです。

日本で出版され、国や文化、時代を超えて親しまれている絵本に、各言語の翻訳シールを貼り付け、子どもたちが母国語で読める絵本となったものを届けます。これまでに多くの方の協力により一九九九年から二十七万冊を超える絵本を送り出しています。

“絵本1セット＝二千五百円”



絵本代、翻訳シール、説明書の海外輸送料、経費込み。参加費は税制上の優遇措置(寄付金控除あり)※但しシャンティへの返送料は自己負担となります。



青朱白玄の会 青春旅行第5弾!

普通列車の旅 第5回 熱海旅行!

■垂水駅から八時間三十分

今回で第5回目を数える普通列車の旅「熱海編」五月二十七日日曜の早朝、

垂水駅六時三九分発普通京都市行きに乗車した私は、眠る間もなく以下の乗換を繰り返し。



- ・神戸駅発七時一分の新快速近江塩津行きに乗車。
 - ・大阪から合流する酒井信夫、酒井弘さんを確認し米原駅発九時十八分の特別快速豊橋行きに乗車。
 - 途中、名古屋から北口好男さん無事合流。
 - ・豊橋発十一時四二分の普通浜松行きに乗車。
 - ・浜松着十二時十五分。
 - ・浜松発十二時二十七分普通興津行きに乗車
 - ・島田駅着。十三時十二分。
 - ・島田駅発。十三時二五分普通熱海駅に乗車。
 - ・熱海駅十五時九分着。
- 千葉から上田孝さんが合流し今回の参加者五名がようやく揃いました。

参考までに書きますと、新神戸六時三六分発の新幹線で名古屋発七時五九分のこだまに乗り換えるのと、熱海には九時五九分に着いてしまします……。

■熱海の日は暮れて

先ずは、今夜の宿泊先の東横イン熱海駅前にチェックインして旅装を解き、まだ、陽の高い熱海の散策。

熱海駅前の平和通りや仲見世名店街を流しながら夕食候補店を選んでいきます。

長い普通列車の旅でお腹の空いた私たちは一七時半には、「創作和食 龍華庭 ふくろう」で海鮮夕食に舌鼓を打ちます。

地元静岡ビールに銘酒「ふくろう」、相模湾から上がった「生け簀アジ活け造り」、「活けアジのなめろう」で旅の疲れを癒やします。

愛想のいいブラジルハーフのイケメン店員さんの接遇にも大満足のはずが……。

□怒りの釜飯炸裂!燃える熱海の夕暮れ

食事のクライマックスの釜飯に事件が起こります。

皆が楽しみにしていた釜飯がなんと「生煮え」で出されたのでした。

食文化を人一倍愛する大阪人に滋賀も兵庫も加わって、「どういうこと?」

■熱海 反省の夜

釜飯騒動も一段落し、二十時には中華菜堂「吉番」で締めラーメンをいただきます。この時、このビルの上階に何やら怪しげなフィリピンパブを発見し、関東特派員の上田さんが偵察に。熱海の闇夜に消えていきます……。品格ある「みどりのはっぱ」にこれ以上書くわけにはいきません。自主規制ですね。

二二時にはホテルで晩酌反省会を行い、次回こそは反省会のない旅をと誓うのでした。

翌朝は、樹齢二千年の大楠を「神木とする」熱海来宮神社「参拝後」。

四季折々美しい一千坪もの庭園「起雲閣」を見学し、昼食後に熱海駅で解散しました。

(勝彦)